

令和4年度

**Digital Innovation City イベント・実証プロジェクト
公募要領**

2022年6月

Digital Innovation City 協議会運営事務局

- 目次 -

1. 事業概要	1
1. 1. 背景・目的.....	1
1. 2. 実施時期.....	1
1. 3. 本事業の実施スキーム・DIC ワンストップ窓口（※4）による支援.....	1
1. 4. 費用負担.....	2
1. 5. 選定件数.....	2
1. 6. 選定後の契約.....	2
2. 募集内容	2
2. 1. モビリティ.....	2
2. 2. 移動ルート.....	2
2. 3. 法規制.....	2
2. 4. テーマ例 ※テーマ以外の企画提案も募集します。.....	2
3. 企画提案者の要件	3
4. 企画提案書の内容	4
5. 企画提案書の提出方法	5
5. 1. 企画提案書の作成.....	5
5. 2. 提出書類.....	5
5. 3. 企画提案書の提出締切.....	5
5. 4. 企画提案書の提出方法.....	5
6. 選定方法	6
7. ヒアリング・プレゼンテーションの実施	6
8. 留意事項	6
9. 連絡先	6

1. 事業概要

1. 1. 背景・目的

臨海副都心エリアは、東京都による「『未来の東京』戦略」（令和3年3月）の戦略10「スマート東京・TOKYO Data Highway 戦略」におけるスマート東京の先行実施エリアの一つとして「デジタルテクノロジーの実装」と「スタートアップの集積」を推進する「Digital Innovation City」（以下「DIC」という。）に向けた取組を進めております。令和3年3月には、臨海副都心に関わる団体等が連携し、「Digital Innovation City 協議会」（以下「協議会」という。）を設立し、DICの実現に向けて協議を開始しました。また、同年9月からは、協議会の下に合計5つのプロジェクトチーム及び検討会（以下「PT等」という。）を設置し、DICの実現に係る諸課題について個別具体的に検討を進めており、議論された内容や決定事項は、都関係局や区、通信事業者などで構成する連絡会にて、情報共有しております。

令和4年度以降、DICは、コンセプト「少し先の未来を体験できる、ライブ・エンタメ分野を軸とした、出会い、つながり、共に創るまち」に基づき、関係者と連携して進めていきます。そして2030年にはイベントの継続的な開催等を通じて来訪者が賑わい、イベントを支える様々な技術に関わるスタートアップが集積する状態の実現を目指します。

この2030年のゴールイメージ達成に向けた課題解決の実証として、臨海副都心エリアにおけるモビリティの移動サービスの実証企画を令和4年（2022年）6月6日（月）から6月20日（月）まで募集します。

（※1）「未来の東京」戦略 version up 2022」（令和4年2月）（協議会発足時から更新有）
<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/choki-plan/>

（※2）「未来の東京戦略～令和4年度の取組～」（令和4年3月）（協議会発足時から更新有）
https://speakerdeck.com/tokyo_metropolitan_gov_smart_tokyo_strat/sumatodong-jing-shi-shi-zhan-lue-ling-he-4nian-du-falsequ-zu

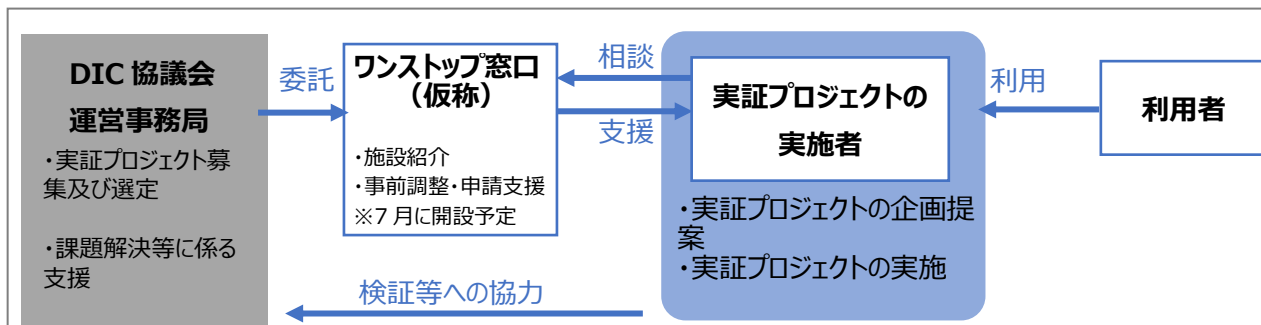
（※3）「Digital Innovation City 協会ホームページ」
<https://tokyo-dic.jp/>

1. 2. 実施時期

令和4年（2022年）7月～令和5年（2023年）2月を予定しています。

1. 3. 本事業の実施スキーム・DIC ワンストップ窓口（※4）による支援

本事業における実証プロジェクトの実施者は、実施に際して、DIC ワンストップ窓口（仮称）から候補施設の紹介や施設利用に係る申請手続への支援等を受けることができます。（※4）令和4年7月頃に開設予定



【表 1】

1. 4. 費用負担

本事業における実証プロジェクトの実施にかかる費用については選定された実施者に負担いただきます。ただし、1. 6のとおり、実証プロジェクト実施に当たっては、委託契約締結の上 DIC 協議会から実施者へ委託料を支払います。

1. 5. 選定件数

本事業における実証プロジェクトは **1 件程度** 選定する予定です。

1. 6. 選定後の契約

選定された提案者は、別途 DIC 協議会との間で実証プロジェクトを行う委託契約を締結するものとします。

なお、委託内容に対し DIC 協議会から提示する上限額は以下のとおりです。

- (1) 環境・サステナビリティに配慮した内容に含まないもの：5,000,000円（税込）
- (2) 環境・サステナビリティに配慮した内容を含むもの：7,500,000円（税込）

2. 募集内容

臨海副都心エリアにおけるモビリティでの移動サービスに関して、以下を踏まえた実証プロジェクトの企画を募集します。

2. 1. モビリティ

臨海副都心エリアへ訪れる来訪者に対して、新たな移動手段を提供するモビリティを用いた企画とすること

※原動機付自転車、自動車、超小型モビリティなど広く対象とする。

2. 2. 移動ルート

臨海副都心エリア内の、一次到着地（りんかい線やゆりかもめの各駅等）、イベントの開催実績がある場所、商業施設間のいずれかの移動ルートを支援する内容とすること

2. 3. 法規制

現行の法律や条例等、エリアの規制下において通行が可能なルート設計や企画内容とすること

※シンボルプロムナード公園は一般交通の用に供するその他の場所とされるため、道路交通法が適用される。このため閉鎖空間を用いた実証プロジェクトとするか、道路使用許可及び保安基準の緩和の調整が必要となる見込み

2. 4. テーマ例 ※テーマ以外の企画提案も募集します。

- (1) 乗車移動が来訪者向けの観光コンテンツとなる、複数人が乗車可能な自動運転型のモビリティ
- (2) 5G によるリモート通信での支援や、AI で行先が相談可能なパーソナルモビリティ
- (3) 前方を歩く方の自動追従や、隣を歩く方と並走ができるモビリティ

3. 企画提案者の要件

本事業に応募する事業者等は、以下の要件を満たすこととします。複数の事業者等が共同で応募する場合は、いずれかの事業者等がすべての要件を満たしていることとします。

- (1) 前述のテーマに係るサービス、技術を有する事業者であること
- (2) 東京都からの指名停止措置が講じられている者ではないこと
- (3) 国や他自治体からの委託や助成等を受けていない事業であること
- (4) 選定後、応募事業者の責任で実証プロジェクトを適切に行うことができること

4. 企画提案書の内容

表 2 の内容に基づき企画提案書を作成してください。

【表 2 企画提案内容】

項目	記載内容
0. 企画提案者の情報	・ 主体的に参画するすべての事業者の情報
1. 実証プロジェクトのテーマ	・ 「小型モビリティを活用した、エリア一次到着地から商業施設までの無料移動サービスによる利便性向上」など、具体的に設定
1-1. テーマ名	
1-2. テーマの説明	・ テーマの内容を説明
2. 臨海副都心の課題	・ 臨海副都心の課題と、課題解決の方向性について記載
3. 2025年に目指す姿	・ 実証プロジェクトを通して、2025年に実現させたい臨海副都心のまちの姿について具体的に説明
4. 企画概要	・ 実施時期、実施主体、想定される実施内容のイメージ等
5. 活用する先端技術	・ 活用技術の名称とその内容について説明
6. 企画参加者・役割	・ 企画、開発、実証、広報、技術協力、イベント運営等、企画参加者名とその役割について説明
7. 予算計画（経費内訳書）	・ 実証プロジェクトに係る費用概算総額（技術開発費及びイベント運営）
8. 3か年計画	・ 2022年から3か年かけて行う各年の実証内容についてそれぞれ記載
9. 想定 KPI	・ 実証プロジェクトを通して達成したい指標値の設定 (利用者アンケートの満足度 75% 等)

5. 企画提案書の提出方法

5. 1. 企画提案書の作成

前述の4. に示す内容で指定フォーマットにより企画提案書を作成してください。

- ◆ 経費内訳書の様式・フォーマットの規格は A4 サイズ、縦・横どちらでも可、体裁は自由とします。

5. 2. 提出書類

- ◆ 企画提案書（PDF ファイル）
- ◆ 経費内訳書（PDF ファイル）

5. 3. 企画提案書の提出締切

2022 年 6 月 20 日（月）17 時

5. 4. 企画提案書の提出方法

企画提案書は、電子メールでの提出をお願いします。メール件名を「令和 4 年度 DIC イベント・実証プロジェクトの企画提案書の送付」と記載の上、連絡先（会社名（部署名）、氏名、電子メールアドレス、電話番号）を本文に明記し、企画提案書等の電子ファイルを添付してください。

電子メールで送付する際、添付ファイルサイズを 10MB 以内に収めて頂くようご協力をお願いします。なお、受付期間終了後の差替えはできません。

企画提案書の提出先：DIC 協議会運営事務局 磯田、山内

メール送付先：dic1@nttdata-strategy.com

メール件名：令和 4 年度 DIC イベント・実証プロジェクトの企画提案書の送付

メール本文：企画提案者の会社名（部署名）、氏名、電子メールアドレス、電話番号

メール添付：①企画提案書、②経費内訳書（メール添付は最大 10MB まで）

6. 選定方法

実証プロジェクトの選定にあたっては、企画提案審査会にて総合的に評価を行います。なお、「スタートアップの集積」を推進する本事業の趣旨を踏まえ、スタートアップが主体となる、またはスタートアップと連携して行う実証プロジェクトの提案をより高く評価します。

【表3 評価基準（観点・方針）】

評価の観点	評価方針
課題解決への貢献度	◆ DIC ロードマップの内容に即した内容か ◆ エリアの実際の課題解決につながっているか
取組の新規性・斬新性	◆ 取組に新規性や斬新性があるか ◆ 活用技術が「少し先の未来」のテクノロジーといえるか
事業者のエリアへの取組意欲	◆ 提案内容がエリアの課題等を踏まえた具体性があり、事業者が今後エリアにおける課題を解決する意欲を持っているか
将来的な実装の可能性	◆ 将来的にエリアに実装の可能性はあるか
実現性（コロナ過における実施可能性を含む）	◆ コロナ過においても提案内容の実施ができるか ◆ 活用を想定するイベント等や設備等を実現性があるか ◆ アンケート回収が見込めるか
費用の妥当性	◆ 実証に要する費用は妥当か
運営体制	◆ 体制にSU（※）が含まれているか ◆ DIC に適した運営体制か ※創業（第二の創業を含む）から10年未満の企業

7. ヒアリング・プレゼンテーションの実施

選定に際し、企画提案書の内容についてヒアリングを実施する、又はプレゼンテーションを実施いただくことがあります。

8. 留意事項

- ✓ 今後のスケジュール進行にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策等の今般の情勢に鑑み、変更される場合があります。
- ✓ 企画提案及び企画提案書作成に要する全ての費用は、応募者の負担とします。
- ✓ 企画提案書に係る一切の情報は、実証プロジェクトの選定のみ利用するものとし、応募の秘密は厳守します。
- ✓ 実証プロジェクトの応募にあたり、活用可能性のあるイベント等について確認したうえで、企画提案をしてください。
- ✓ 実証プロジェクトの実施にあたり、関連法令を遵守し、事業の安全性を確保してください。
- ✓ 実証プロジェクトの実施は、実証プロジェクトの実施者の責任で行ってください。実証プロジェクトの実施に関して発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む。）は、実証プロジェクトの実施者が当該費用を負担ください。また、実証プロジェクトの実施者は、実証プロジェクトの実施において、参加者に損害が発生した場合に備え、保険に加入してください。

9. 連絡先

DIC 協議会運営事務局

担当：磯田、山内

メールアドレス：dic1@nttdata-strategy.com